



今年も、空が澄み爽やかな季節を味わうこともなく夏から一挙に秋が深まった日暮れが早くなり吹く風も冷たく何となくもの寂しい

自粛警察の目を気にして園外保育を控えていたが久しぶりに「竜の子山」に出かけた行ききのバスは大興奮、走り登り虫を追い、疲れ知らず冷気の中、山からの景色はスッキリ一転、帰りのバスは静寂、バックミラーの中の子ども達はみんなグツスリ



2	火	絵本の読み聞かせ(5歳児)
5	金	給食費振替日(3歳児以上)
6	土	運動会(3・4・5歳児参加)土曜保育無し
10	水	街探検(小学生訪問)
11	木	カレーの日
12	金	交通安全教室(5歳児)
16	火	ピヨピヨひろば
17	水	筑波登山/おべんとうデー
18	木	航空写真(9:58)/内科検診(15:00)
19	金	不審者対応訓練
22	月	全園児集合写真(10:40)
25	木	誕生会
26	金	避難訓練

「おもほりしたよー」

先月、おもつるが生い茂る中、軍手をつけ裸足で畑に入ったそうグループの子ども達は、「つるがながーい」「ぬけないよー」と大騒ぎしながらも、大きなおもいもや、ちびいもちゃんをたくさん収穫しました。そのおもいは、そうグループときりんグループが嬉しそうに持ち帰りました。おもつるは、今後リース作りの土台として活用予定です。出来上がりが楽しみです！



今月の予定の中から・・・

●運動会(6日)

当日は、3歳児以上の参加となりますが、0・1・2歳児の子ども達も園内での運動会ごっこを見学したり、一緒に踊ったり、たくさんの刺激を受けています。かけっこでは、勝ち負け等貴重な体験をしています。結果がどうであれ、一人一人の真剣な表情や頑張りを拍手とポンポンで応援して下さいね。

●カレーの日(11日)

ぞうグループやきりんグループの子ども達のお仕事を、年下の子ども達が羨望の眼差しで見えています。ぞうグループときりんグループは、自信をもってお仕事をできるようになってきました。(継続は力なり・・・)

●筑波登山(17日)

天候不順の為、延期となった筑波登山の日です。今度こそ、ぞうグループ全員で筑波山の頂上の景色を眺めて欲しいと願っています。

●おべんとうデー(17日)

おべんとうデーは、子ども達が毎回楽しみにしています。お弁当の中味は、お子さんの好きな物を入れて、完成を目指しましょう！

●航空写真(18日)・集合写真(22日)

今年も、航空写真と全園児と職員の集合写真を撮影します。

●内科検診(18日) 15時

当日欠席の場合も、受診時間に来園して下さい。

全員の方の受診をお願いしています。

●誕生会(25日)

今月も、誕生者をみんなで祝いします。

★お知らせ

来週から、フードの無い薄手のジャンパーのご用意をお願いします。ジャンパーは、月曜日から金曜日まで園に置いて頂き、週末には持ち帰り、洗濯をお願いします。また、ジャンパーを掛ける子ども用ハンガー(プラスチック素材の物)に名前を書いて一緒に持ち下さい。非常勤職員の小林雪先生が今月より産休に入り、育児が落ち着いたら復帰予定です。今年のおクリスマス会は、12/17(金)です。

あいさつ

コミュニケーション能力



私の友人に、中学しか出てないのに、大成功した友人がいる。彼は「人生で成功するには、健康で、きちんと挨拶ができることだ」と言う。それなら「ふたばっ子」はみんな人生の成功者になれる。ふたばっ子は、みんな元気で健康である。そして、挨拶が素晴らしい。私が園に行くと、「おはようございます」の音が降り注ぐ。我先に飛びついてくる。両足にしがみついて、親愛の情を示してくれる。わざわざ駆け寄って来て、直立不動の姿勢で「おはようございます」と、頭を下げる子もいる。▼初めから挨拶ができる子は多くない。決して強制したりはしないが、先生方が率先して園全体で挨拶をする雰囲気と、習慣が出来ているので、誰もが挨拶するようになる。朝の体操の時に、園長先生のアフリカ探検の話をする。「ジャングルで、やりを持ったアフリカ人に出会った時に、ジャンボ！と挨拶されたのに、ジャンボ！と挨拶をしないと敵だ！と思われて、ヤリで刺されてしまう。だから、ふたばの仲間論、行きかう人はみんな仲間ですと、あいさつ

しよう。ちゃんと挨拶しているのに、知らぬふりで挨拶してもらえなかったら、悲しいでしょ？寂しいよね」と言う心から納得してくれる。けんかしても、お帰りの時には、「さよなら、また明日ね」そして、翌日には「おはよう」とあいさつしようね、と話します。そして、あいさつには「ゴメンね」「ありがとう」という言葉もあることを付け加える。▼企業が、採用で一番重視しているのが、コミュニケーション能力(人と関わる力)だそう。どんな仕事も、人と強調・協力できなければ成功しない。コミュニケーションの第一が「あいさつ」である。あいさつで心が通じ合う。「いいじめ」は、仲間外れにすることが、一人を無視すること、口をきいてくれない。一人で孤立することほど辛いことはない。それでも「あいさつ」することで、人は繋がっていく。同じように、夫婦ゲンカをすると、口をきかなくなる。口をきかないのは辛いこと、ケンカをしても「あいさつ」だけはしよう。そこから関係が修復され、仲直りができる。▼力の弱い人類・ホモサピエンスは、コミュニケーション能力を持ったことで、太古の時代から生き残り、言葉を獲得し、発達してきた。スマホや、ITの発達の中で、コミュニケーションが薄くなってきた。その上、コロナ禍である。元来、子ども達は、群れて、絡まり合っていて、相手の表情を読みとり、人間関係の能力を発達させてきた。ケンカした相手の悲し気な表情に、心を動かして仲直りしたり、一緒に大きな砂山を作り、崩れないトンネルを掘り、喜びを共有し、達成感をさらにふくらませたりしてきた。一気に深まった秋の中で、子ども同士がいっぱい関わりながら、思い切り遊ばせたい。

